



## バーベキューごみ対策について

神奈川県内の海岸では、春先から秋までの間、多くの方がバーベキュー（BBQ）を楽しんでいます。近年、一部の方がごみをそのまま放置するケースが目立ちます。こうしたごみの中には

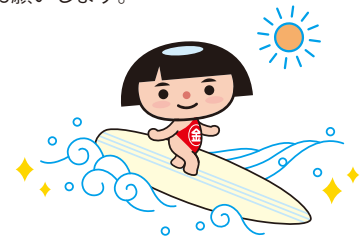
生ごみが混入している場合が多く、悪臭を放つだけでなく、カラスや猫などによってごみが周囲に散乱する問題も発生しています。また、安価になった器材などを一度使ったらそのまま捨て

ていくケースも増えています。

こうした現状を踏まえて、県や地元各市町においても、パトロールや啓発活動を強化するなど、さまざまな取組みがなされています。

神奈川県では、今年の8月から11月末まで土日を中心に、延べ150回、海岸利用者のマナー向上のため、海岸でゴミの持ち帰りを呼びかけています。「みんなの海だよ！自分のごみは持ちかえろう！」と呼びかけるかながわキンタロウが目印です。また、利用者の方々には、かながわキンタロウのイラストが入った持ち帰り用の袋も配布しています。

多くの方が、海岸で気持ち良く過ごせるよう、マナーを守った海岸利用をお願いします。



## 中島中学校2年生の職業体験を受け入れました

11月11日～15日までの5日間、茅ヶ崎市立中島中学校の2年生4名が財団に職業体験にきました。

一日ごとに、パトロール・海岸清掃・ビーチグラス拾い・機械のペンキ塗り・イベントグッズ作りなど、さまざまな仕事を体験。

当初、海を見ながらのんびり仕事をするのかなと思っていた中学生たちは、海を眺める余裕もなく、ひたすらごみの山を片づけたり、重機のサビを落としたり、ペンキ

を塗ったりと、想像していたのとは異なる仕事に戸惑いながらも、一生懸命取り組んでいました。

彼らが学校や家庭に戻り、今回の体験したことを話すことによって、海岸美化の繋がりが広がってほしいものですね。

財団では、こうした中学・高校の職業体験や総合学習の時間を利用した環境講座などの受け入れを行っています。ご興味ある方は、お気軽にご連絡ください。



## 愛川町の第一回環境フェスタに出展してきました



海岸のごみの約7割は川から！海岸のごみを減らすには、河川中上流部への美化啓発も欠かせません。そこで、11月24日に、愛川町で開催された「第1回環境フェスタ」に出展してきました。

会場ではパネルを展示するだけでなく、ビーチグラスなどを使った工作教室も開催し、沢山の子もたちに対し、楽しみながらもしっかりと海岸ごみについてアピールしてきました。